



2009年1月7日発行

ありんこ 省エネ村 通信



ありんこソーラーマイレージ・クラブ

あけまして おめでとうございます。



昨年は『懐かしい暮らし方は、未来を救う』をテーマに、掃除機をほうきに持ち替え、すだれの活用をはかり、「夏は薄着で冬は重ね着でおしゃれを」という生活の工夫を提案しました。

11月の『エコハウスな暮らし方交流会』では、会場を鶴舞公園内の奏楽堂、緑化センター講習室に野草の生け花展、コンサートをやりました。あいにくの雨で、ソーラーコーヒーショップ、煉炭の利用で焼き芋、太陽光発電の1枚からの活用術、超小型水力発電で回転木馬、光力遊園地（太陽光で遊ぼうコーナー）は実施できませんでしたが、下村 善嗣氏（環境省地球環境局地球温暖化対策課）を講師に、世界的視野で温暖化の問題をとらえ、身近な省エネ行動の意味を確かめる機会になりました。





ありんこ省エネ村ニュース

大集合イベント

テーマは、
省エネ型ライフスタイル普及活動を
全国4地域、TV会議で結んで

日にち●2009年2月8日(日)

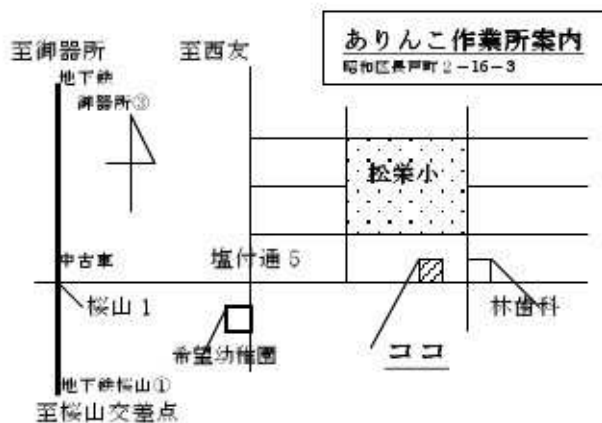
会場●ありんこ作業所 名古屋市昭和区長戸町2-16-3 マサビル1F

地下鉄●鶴舞線 桜通り線 御器所駅 徒歩 12分、桜山駅 徒歩 12分

1. 活動報告;カーボンフリーな暮らしと楽しみ
2. ワークショップ;太陽光発電をもっと広げるための使命
3. まとめの報告

参加申し込み方法 氏名、住所、電話番号、懇親会参加の有無を記入のうえ、メール、Fax、郵送で申し込みください。

(2月3日まで FAX 052-842-1956)



冬の室温 20℃

WARMBIZ

ウォームビズを始めましょう!

ウォームビズは暖房に必要なエネルギー使用量を削減することによって、CO2発生を削減し地球温暖化を防止することが目的です。最近の断熱性の高い建物では、暖房しなくても室温が20℃を超えるものもあります。暖房をつけずに済むものであればそれが最も望ましく、ウォームビズはあくまでも過剰な暖房を抑制する呼びかけです

ありんこ省エネ村データの第2期集計結果、4月から11月までの成果!!

15,590kg、達成率約48% (65世帯分)

みなさ〜ん データを提出してくださ〜い

2月末までの目標量32,816kgに対し、このままでは目標達成は厳しい状況です。PV設置の方は、売電実績をぜひご提出ください。ご近所に太陽光発電設置の方がみえたら、ぜひ参加を積極的に呼びかけてください。

記入用紙を同封します。

アリソラ

ありんこ省エネ村の村民とPV-Net中部地域交流会の会員が共同して、太陽光発電設備の普及と交流、様々な省エネルギー対策の情報発信で、地域ぐるみのCO2削減対策の実現を図ろうとしています。



ありんこ省エネ村の活動は4年目に入りました

「ありんこ省エネ村」は、ありんこ作業所の仲間が愛知県地球温暖化防止活動推進センターを通じて、愛知県の委託事業として 2005 年にスタートしました。

「環境と福祉をつなぐ環境家計簿活動のための福祉施設を中核とした地域コミュニティ定着事業」をテーマに活動をすすめ、2007 年からは太陽光発電所ネットワークとの協働で、環境省の委託事業・ソーラーマイレージクラブの活動をすすめてきました。

村民は 2005 年～2006 年に 106 名になり、現在は 210 名の村民が登録されています。

ありんこソーラーマイレージ・クラブの活動は、 毎月の購入電力量、ガス、灯油の使用量を報告してもらい、全体の削減目標をたてて取り組んでいます。

この地域の平均的な CO2 排出量 (1,110kg/1 年 1 人) をもとに、ありんこ省エネ村の 2008 年度の CO2 削減の目標は -36,666 kg です。

障がいをもった人や子どもの未来がたいへんでないようにするために

地球の健康は子どもの健康を守ること、障がいをもった人や高齢者を応援することにつながります。『食』にも直接関連します。どなたでも「ありんこ省エネ村」村民になれます。

みんなが自然や環境やエネルギーに意識もつ町は、子育てや福祉、健康に力が出せる町、というのが「ありんこ省エネ村」からの提案です



ドイツ大使館

Deutsche Botschaft Tokyo

国際再生可能エネルギー機関 (IRENA)、

2009年に発足

エネルギー安全保障や環境保護、貧困などの諸問題に適切に対応するためには、どうしても国際協力が必要です。しかもその際、再生可能エネルギーが鍵を握っています。気候変動や旧来のエネルギー資源の供給面での限界を考えれば、再生可能エネルギーの利用拡大は不可欠です。ドイツ連邦政府は国際再生可能エネルギー機関 (IRENA) の設立を通じ、世界規模で再生可能エネルギーの利用を拡大し、そのスピードを加速することを目標としています。

IRENA 規約 (憲章) 原案は 2008 年 10 月にマドリッドで最終的な文面につき合意、採択。それを受けて翌 2009 年 1 月 26 日と 27 日、ボンで開催される設立会合で規約 (憲章) への署名が予定されています。

IRENA の優先目標は、再生可能エネルギーの広範囲で持続可能な利用を世界規模で加速させることにあります。IRENA は加盟国に資金面での助言も行ない、広報活動と政策研究を拡充するそうです。

http://www.tokyo.diplo.de/Vertretung/tokyo/ja/05_WiWiss/Aktuelles/IRENA_Seite.html より

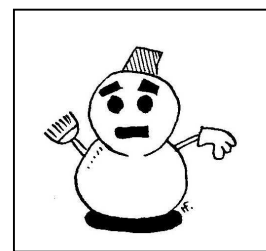


電気代の不思議

オール電化にして、光熱費は減ったのに、CO₂の排出は増えてしまったという家庭が、少なからずあります。太陽光発電をつけたのに、思うようにCO₂排出量は減っていないという方も、多く見えます。

電力会社は深夜の電気代をととても安くしています。原発でつくる電気は、大口の使用が減る夜間、深夜でも、減らすことができません。そのため、深夜は電気が余ってしまいます。普段、何気なく使っている電気も、もとは、石油、石炭（今、とても増加していて、CO₂増加の大きな原因になっています）ウラン、太陽、水、等です。

ナイトタイムの電気量料金は1 kWhあたり、9.33円です。同じプランの昼間は、使用量により、20.70円から27.33円です。同じ量の電気でも、2倍から3倍違います。給湯を深夜の電気で沸かすようにオール電化でしていますが、電気を熱に変えるのは、大きなエネルギーが要ります。オール電化の家は、暖房、給湯に多く使う冬に、エネルギーのピークがくる場合が多いようです。



ご協力を！ MAKE the RULE 署名

MAKE the RULE キャンペーンは、CO₂などの温室効果ガスの削減目標を定め、その目標達成のために温室効果ガスを確実に減らす制度作りを求める請願署名のキャンペーンです。

めざすこと

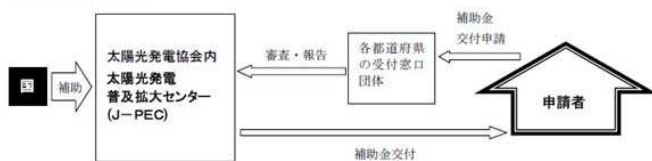
1. 京都議定書の目標である6%の削減を守るのはもちろん、日本でのCO₂などの温室効果ガスの中長期的な削減目標を定めること。
2020年には1990年のレベルと比べて30%の削減をすること
2050年には1990年のレベルと比べて80%の削減をすること
2020年には一次エネルギー供給の20%を再生可能エネルギーにすること
2. 温室効果ガスを確実に減らすためのしくみ（ルール）を作ること。
CO₂を減らす人・企業が報われ、CO₂をたくさん出す人・企業には相応の負担を求める経済社会にすること（炭素税・排出量取引制度など）
再生可能エネルギーを大幅にふやすしくみをつくること（固定価格買取制度など）

<http://www.maketherule.jp/dr5/>

PV-Netも参加しています。
請願署名に取り組んでいます
のでご協力ください。

平成20年度住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金の募集がはじまりました。

＜制度の仕組み＞



※各都道府県別に受付窓口団体（別紙1）を定め、補助金の申請を受け付けると共に、各地方公共団体独自の補助施策等に関する情報を一括して提供できる体制を構築する。

グリーン電力証書を活用した、愛知県のモデル事業は3月20日まで延長されます。

住宅用太陽光発電の設置を予定されている方は、売電用メーター、買電用メーターともう一つ総発電メーターの設置をしてください。自家消費分の環境価値を20円/kWhで愛知県が購入します。地域限定です

お問い合わせはPV-Net 052-842-1929 まで